

FLOW 8

8-Input Digital Mixer with Bluetooth Audio and App Control,
60 mm Channel Faders, 2 FX Processors and USB/Audio Interface

JP

JP 安全指示

1. これらの指示をお読みください。
2. これらの指示を守ってください。
3. すべての警告に注意してください。
4. すべての指示に従ってください。
5. この装置を水の近くで使用しないでください。
6. 乾いた布でのみ拭いてください。
7. 換気口をふさがないでください。製造元の指示に従ってインストールしてください。
8. ラジエーター、ヒートレジスター、ストーブ、または熱を発生するその他の装置 (アンブを含む) などの熱源の近くに設置しないでください。
9. 製造元が指定したアタッチメント/アクセサリのみを使用してください。



10. 製造元が指定した、または装置と一緒に販売されたカート、スタンド、三脚、ブラケット、またはテーブルでのみ使用してください。カートを使用する場合は、カートと装置の組み合わせを移動するときに、転倒による怪我を防ぐように注意してください。

カートを使用する場合は、カートと装置の組み合わせを移動するときに、転倒による怪我を防ぐように注意してください。



11. この製品の正しい廃棄: この記号は、WEEE 指令 (2012/19/EU) および国内法に従って、この製品を家庭ごみと一緒に廃棄してはならないことを示しています。この製品は、廃電気電子機器 (EEE) のリサイクルを許可された収集センターに持ち込む必要があります。この種の廃棄物の取り扱いを誤ると、一般に EEE に

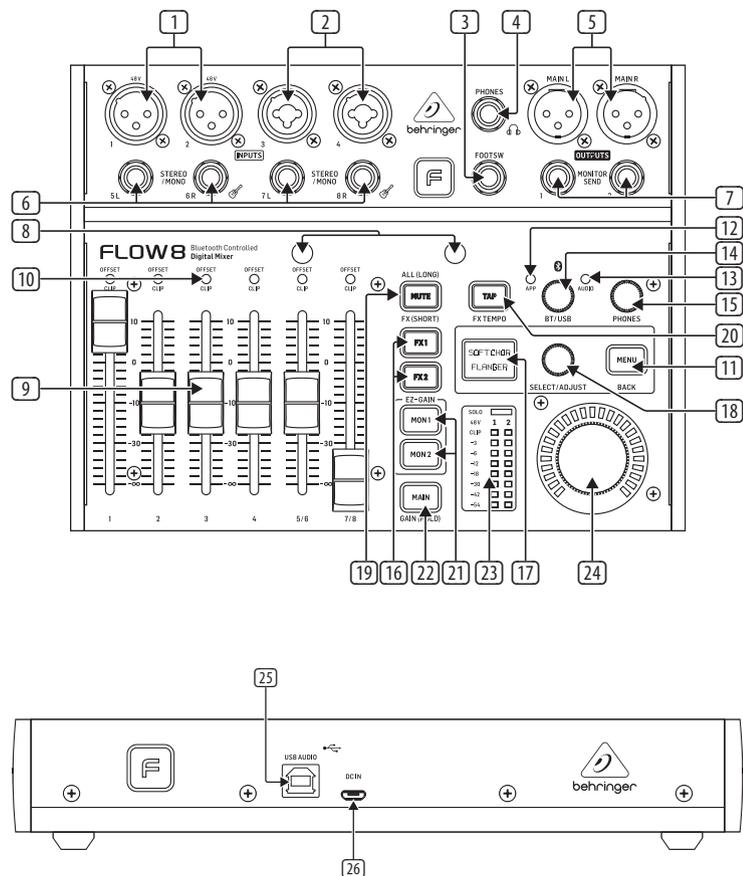
関連する潜在的に危険な物質が原因で、環境と人間の健康に悪影響を与える可能性があります。同時に、この製品の正しい廃棄にご協力いただくことで、天然資源の効率的な利用に貢献します。廃棄物をリサイクルする場所の詳細については、最寄りの市役所または家庭ごみ収集サービスにお問い合わせください。

12. 本棚などの狭い場所には設置しないでください。

13. 火のともったろうそくなどの裸火源を装置の上に置かないでください。

JP

FLOW 8 コントロール



① **MIC1/MIC2 (マイク 1 / マイク 2)** 入力 バランス XLR コネクター経由でオーディオ信号を受け入れる端子です。両 XLR ジャックとも、コンデンサーマイク用のファンタム電源を個別に装備しています。ファンタム電源は、コントロールアプリまたは MAIN (メイン) ボタンおよび SELECT/ADJUST (セレクト/アジャスト) プッシュエンコーダーで有効化できます (“スタートアップガイド”をご参照ください)。

② **MIC3/MIC4 (マイク 3 / マイク 4)** コンボジャック バランス XLR、バランス ¼ インチ TRS またはアンバランス ¼ インチ TS コネクター経由で、ラインレベルソースまたはダイナミックマイクロフォンのオーディオ信号を受け入れます。コンデンサーマイクロフォンの使用するには、+48 V 電源を供給可能な外部リアンプ、または Behringer PS400 のようなファンタムパワーサプライが必要です。

注意: これらの入力端子にはファンタム電源は装備されていません!

③ **FOOTSW (フットスイッチ)** ジャック ¼ インチ TRS ジャックで、外部シンクルまたはデュアルコントロールフットスイッチに接続します。

④ **PHONES (ヘッドフォン)** ジャック ¼ インチ TRS ステレオプラグでヘッドフォンを接続します。

⑤ **MAIN L/MAIN R (メイン L/メイン R)** 接続端子 バランス XLR コネクターのケーブルを通じて、最終ステレオミックスを出力します。

⑥ **STEREO/MONO (ステレオ/モノラル)** 入力 ステレオ ラインレベル信号 (5/6 および 7/8 ステレオペア) またはモノラル信号 (モノラル ラインレベルソースには 5L および 7L、ギターやベースからのモノラル Hi-Z 信号には 6R および 8R) を受け入れます。

⑦ **MONITOR SEND (モニターセンド - MON1/MON2)** ジャック 2つのモニター出力です。バランス ¼ インチ TRS またはアンバランス ¼ インチ TS コネクターのケーブルで接続します。

⑧ **ホールディングポスト** スマートフォンを直接ミキサー上に設置でき、スマートフォンコントロールアプリのレベルおよび設定の閲覧が容易になります。

⑨ **チャンネルフェーダー** 各チャンネルのミックスレベルを設定します。このフェーダーは、コントロールアプリで選択するか、メニューレイヤーで関連するハードウェアボタンを押すことにより、MON1/MON2 出力ジャックまたは FX1/FX2 内部バスへのセンドレベル制御にも使用できます ([16]、[21] および [22] 参照)。

⑩ **OFFSET/CLIP (オフセット/クリップ) LED** 入力ゲインによるチャンネルヘッドルームのクリップ時や、ハードウェアフェーダーがコントロールアプリに表示されているフェーダーレベルと異なる位置にある時、発光により通知します (ハードウェアフェーダーがコントロールアプリに表示されているレベルに戻ると、LED は消灯します)。

⑪ **MENU (メニュー)** ボタン MAIN、MON1 または MON2 メニューレイヤーの選択時にこのボタンを押すと、メニューモードを開きます。MENU ボタンを再度押すとメニューモードを終了します。

⑫ **APP (アプリ) LED** は、コントロールアプリとの Bluetooth* ペアリング中に点滅します。ペアリングが成功すると、LED は継続点灯します。Bluetooth 接続失敗や、接続が無効になると、LED は消灯します。Bluetooth について詳しくは “スタートアップガイド” の項をご参照ください。

⑬ **AUDIO (オーディオ) LED** オーディオストリーミング用の Bluetooth ペアリングが有効になっていると点灯します。Bluetooth について詳しくは “スタートアップガイド” の項をご参照ください。

⑭ **BT/USB ノブ** Bluetooth または背面の USB AUDIO コネクターを通じてミキサーにルーティングされたデジタルオーディオの音量を設定します。

⑮ **PHONES (ヘッドフォン) ノブ** ヘッドフォン音量を制御します。

⑯ **FX1/FX2 ボタン** パッチ選択やパラメーター調節をする際に 2つの FX エンジンに切り替えます。FX1 または FX2 ボタンの選択時、チャンネルフェーダーでは FX エンジンへのセンドレベルを調節します。

⑰ **メニュースクリーン** 2つの FX エンジンで現在有効になっているエフェクトの名称を表示し、FX1 または FX2 ボタンを押すと FX プリセットリストを表示します。MENU ボタンを押して、メニューモードを開く/閉じます。SELECT/ADJUST (セレクト/アジャスト) プッシュエンコーダーを回してサブメニューを閲覧し、任意のメニューアイテムを押して選択します。

⑱ **SELECT/ADJUST (セレクト/アジャスト)** プッシュエンコーダー メニューのナビゲート (回す) およびエンター/確認 (押す) に使用します。

⑲ **MUTE (ミュート)** ボタン FX 部のオーディオをすべてオフにします。MUTE ボタンを長押しすると、オールミュート機能が有効になります (“スタートアップガイド” の項をご参照ください)。

⑳ **TAP (タップ)** ボタン テンポをタップインし、タイムベースのエフェクトを素早く調節できます。

FLOW 8 コントロール

- [21] **MON 1/MON 2 (モニター 1/モニター 2)** ボタンダイレクトモニタリングのためのモニターミックスか、メインミックスでレベル設定のいずれかを選択します。メインミックスに戻るには、MAIN ボタンを押します。MON 1 と MON 2 を同時に押すと、EZ GAIN (イージーゲイン) 機能が有効になります ("スタートアップガイド"の項をご参照ください)。
- [22] **MAIN (メイン)** ボタンメインミックスを最終出力として選択します。MON 1 および MON 2 ボタンでモニターミックスの選択ならびにチェックをおこなった後、MAIN ボタンを押して、メインミックスに戻ります。マニュアルゲイン設定およびファンタム電源の有効化をおこなうには、MAIN ボタンを長押しします ("スタートアップガイド"の項をご参照ください)。
- [23] **VU メーター** メインミックス、モニターミックスまたは FX センド信号のレベルを表示します。SOLO (ソロ) モードでは、このメーターに、各入力チャンネルの詳細なゲイン設定が表示されます。チャンネル 1 および 2 の+48 V ファンタム電源が有効になっていると、メーターの上にある LED "1" および "2" が点灯します。
- [24] **MAIN (メイン) ノブ** 現在選択しているバス FX 1、FX 2、MON 1、MON 2 または MAIN のマスター音量を制御します。最終音量設定は、ノブ周囲の LED リングに表示されます。スマートフォンアプリから現在選択中のバスのマスター音量設定を調節する際は、LED リングはアプリでそのバスに選択した音量設定を表示します。
- [25] **USB AUDIO (USB オーディオ)** ジャック オーディオストリーミング、ファームウェアアップデートおよび MIDI 制御をおこなう際に、この端子でコンピューターと接続します。USB 接続で FLOW 8 をマルチチャンネル オーディオインターフェイスとして使用し、コンピューターへの録音もできます。レコーディングインターフェイスとして使用する場合、10 のチャンネル (8 アナログ入力、メイン L/R バスミックスはプリフェーダー) がコンピューターに転送され、BT/USB チャンネルでコントロール可能な、2 ステレオ プレイバックチャンネルが FLOW 8 ミキサーにストリームバックされます。

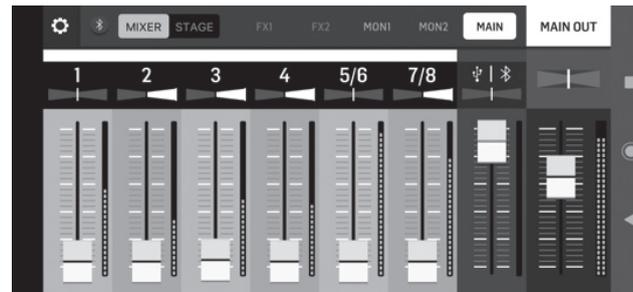
- [26] **DC IN (DC 入力)** ジャック Micro-USB 接続を通じてユニット本体に電源を供給します。付属の外部パワーサプライか Micro-USB 接続による USB パワーバンクのいずれかで電源を供給します。

* Bluetooth のワードマークおよびロゴは Bluetooth SIG, Inc. の登録商標で、これらのマークの使用にはライセンス許可を取得しています。

FLOW 8 はじめに

Bluetooth 接続: ストリーミングおよびコントロール

Bluetooth 対応機器によるオーディオストリームをおこなうには、基本的な Bluetooth オーディオ接続が可能なスマートフォン、タブレットまたはコンピューターが必要です。



ミキサーは Android** または Apple iOS** コントロールアプリによってのみ制御できます。コントロールアプリからミキサーをコントロールする際、1度に使用できる Bluetooth 機器は1台のみです。

オーディオは、コントロールアプリを起動しているのとは別の Bluetooth 機器、または同じ機器でストリームできますが、同時使用できるオーディオ機器およびコントロールアプリ使用機器はそれぞれ1台ずつです。

注意: FLOW 8 は2種類の Bluetooth を同時使用します: コントロールアプリには Bluetooth Low Energy (BLE)、オーディオストリーミングには通常のワイヤレス オーディオストリーミング用の Bluetooth Audio です

コントロールアプリの Bluetooth ペアリング

お使いの Bluetooth 機器からアプリを使って FLOW 8 をコントロールするには、次の手順で設定します:

1. Apple Store** または Google Play Store** より FLOW コントロールアプリを無料ダウンロードします。
2. スマートフォンまたはタブレットで Bluetooth を有効にします。
3. FLOW 8 ミキサーハードウェアで MENU ボタンを押して、SELECT/ADJUST プッシュエンコーダーを回して BT PAIRING (Bluetooth ペアリング) メニューを選択します。エンコーダーを押して、このサブメニューに入ります。

4. SELECT/ADJUST プッシュエンコーダーで PAIR APP (ペア アプリ) を選択し、エンコーダーを押して、Bluetooth 機器の検出を実行します。
5. Bluetooth 機器で FLOW コントロールアプリを開始します (60 秒以内)。コントロールアプリが自動的に FLOW 8 を検知し、接続します。接続が成功すると、コントロールアプリ内の Bluetooth アイコンがグレー (無効) からブルー (有効) に変わり、ミキサーハードウェア上のブルーの APP LED が継続点灯します。
6. 接続に失敗した場合は、アプリの RETRY (リトライ) ボタンを押して、画面の表示にしたがって操作してください。

**Android および Google Play Store a は Google, Inc. の商標です。Apple iOS および Apple Store は Apple Inc. の商標です。

オーディオストリーミングの Bluetooth ペアリング

Bluetooth 機器から FLOW 8 ミキサーへオーディオストリーミングをおこなうには、下記の手順にしたがって操作します:

1. スマートフォンまたはタブレットで Bluetooth を有効にします (有効になっていない場合)。
2. FLOW 8 ミキサーハードウェアの MENU ボタンを押して、SELECT/ADJUST プッシュエンコーダーで BT PAIRING (Bluetooth ペアリング) メニューを選択します。エンコーダーを押して、このサブメニューに入ります。

FLOW 8 はじめに

- SELECT/ADJUST プッシュエンコーダーで PAIR AUDIO (ペア オーディオ) を選択し、エンコーダーを押して Bluetooth 機器の検出を開始します。
- スマートフォンまたはタブレットで Bluetooth メニューを開きます。
- スマートフォンまたはタブレットで “FLOW 8 (Audio)” を選択し、ペアリングします。

注意: スマートフォンまたはタブレットのブランドや OS バージョンによって、Bluetooth メニューに表示される機器名が異なることがあります。

- ペアリングが成功すると、スマートフォンまたはタブレットのメニューにはその旨が表示され、ミキサーハードウェアの青色 AUDIO LED が継続点灯します。
- スマートフォンまたはタブレットでオーディオプレイバックを開始します (例、ラジオアプリまたはメディアプレイヤーアプリなど)。オーディオがワイヤレスで、FLOW 8 にステレオでストリーミングされます。
- 最終的な音量調節をおこないます。Bluetooth プレイバックの音量は、次の 4 種類の方法で調節できます:
 - スマートフォンまたはタブレットのハードウェア音量アップ/ダウンボタン
 - オーディオプレイバックアプリの音量コントロール
 - FLOW 8 ミキサーハードウェアの BT/USB レベルノブ
 - FLOW コントロールアプリ内ミキサー表示の BT/USB ステレオチャンネル

注意: たとえば YouTube* などのスマートフォンまたはタブレットアプリでは、画面を切り替えるとプレイバックが停止します (例、FLOW コントロールアプリ画面に切り替えるなど)。オーディオストリームを中断させないためには、“ピュア” オーディオアプリのご使用を推奨します。

*YouTube は Google Inc. の商標です。

フットスイッチ操作

FOOTSW (フットスイッチ) ジャックにフットスイッチを接続して使用すると、エフェクトのミュート、タイムベース エフェクトへのテンポ タップイン、そして前/次のスナップショットの選択ができます:

- フットスイッチモード “FX (エフェクト)” (初期設定): Switch 1 = ミュート (両 FX エンジン)、Switch 2 = タップテンポ (両 FX エンジン)
- フットスイッチモード “SNAPSHOT (スナップショット)”: Switch 1 = スナップショット アップ (前)、Switch 2 = スナップショット アップ (前)

FX メニュー ナビゲーション

- ミキサーハードウェアで FX1 または FX2 メニューレイヤーを選択すると、現在のエフェクトプリセットを確認できます。プリセットは SELECT/ADJUST プッシュエンコーダーを回して押すことで変更できます。
- FX1 または FX2 レイヤーの状態では MENU ボタンを押すと、編集可能なパラメーター (1 エフェクトにつき 2 つ) が開き、調節できます。
 - ◆ SELECT/ADJUST プッシュエンコーダーを回すと、上/1 番目のパラメーターを変更します。
 - ◆ SELECT/ADJUST プッシュエンコーダーを押すと、下/2 番目のパラメーターにアクセスし、2 つの値/状態の間で切り替えができます。
- MENU ボタンを再度押すと、プリセット選択ページへ戻ります。

オールミュート機能

オールミュート機能を使用すると、1-8 の全チャンネル。

オールミュートを有効にするには、MUTE ボタンを長押しします。

オールミュート有効時には、インジケーターが以下の状態になります:

- メニュースクリーンが赤色に点灯。
- OFFSET/CLIP LED が点滅。
- VU メーターの上にある、“1” および “2” の 2 つの赤色 LED が点滅。

オールミュートを終了するには、MUTE ボタンを短く押しします。

ケーブルの脱着の際、オールミュートモードを使用すると、ポップノイズを防ぎ、接続しているスピーカーやヘッドフォンに損傷を与えず、素早く簡単にこなえます。

手動ゲイン変更およびファンタム電源

手動でゲインを調節する、またはファンタム電源を有効にする (チャンネル1および 2 のみ) には:

- MAIN ボタンを長押しします。メニュースクリーン ディスプレイが黄緑色になります。
- スライダを動かし、任意のチャンネルを選択します。
- スライダでゲインを設定します。
- SELECT/ADJUST プッシュエンコーダーを押して、チャンネル 1 または 2 の、+48V ファンタム電源の入/切を選択します。
- MAIN ボタンをリリースすると終了します。

イージーゲイン機能

EZ GAIN (イージーゲイン) 機能では、自動的にゲインおよびチャンネルレベルの調整/設定をおこないます。チャンネル1および 2 では、必要に応じて +48V ファンタム電源が自動的に選択されます。イージーゲイン機能を有効にするには:

- MON 1 および MON 2 ボタンを同時に押しします。メニュースクリーン ディスプレイが緑色になります。
- SELECT/ADJUST プッシュエンコーダーを回し、イージーゲイン調整する入力を選択します。“ALL” を選択すると、ミキサーは 8 つの全入力チャンネルを同時に調整します。
- SELECT/ADJUST プッシュエンコーダーを押すと、調整が開始します。

- チャンネルで歌う/話す/演奏すると、ミキサー側でゲインおよびチャンネル音量を自動調整し、必要に応じて +48V ファンタム電源を適用します。

注意: 調整の手順には、最短でも 7 ~ 10 秒かけてください!

- 演奏を終えたら、SELECT/ADJUST プッシュエンコーダーを押して、調整を終えます。
- 他のチャンネルも調整する場合は、手順 2 ~ 5 を繰り返します。
- 調整が完了したら、MAIN ボタンまたは他のバスボタンを押して、イージーゲインモードを終了します。

SOFT POWER OFF (ソフトパワーオフ)

MENU ボタンを長押しすると FLOW 8 が省力モードになります。その際このボタンのみが暗く点灯します。

ヒント: ミキサーを再スタートするには、MENU を短く押しします。

MIDI 実装

OVERVIEW

Input Channels Section	MIDI Ch.	Busses Section	MIDI Ch.	FX-Slots Section	MIDI Ch.	Global Control Section	MIDI Ch.
Input Ch. 1	1	MAIN BUS	8	FX 1	14	SNAPSHOTS - whole mixer	16
Input Ch. 2	2	MON1 BUS	9	FX 2	15	FX 1 / FX 2 - common ctrl.	"
Input Ch. 3	3	MON2 BUS	10			[MIDI-Ch. 13 = not used]	
Input Ch. 4	4	FX 1 BUS	11				
Input Ch. 5/6	5	FX 2 BUS	12				
Input Ch. 7/8	6						
Input Ch. USB/BT	7						

INPUT CHANNELS

Section	MIDI Ch.	Command	Min. Value	Max. Value	Parameter	Min. Value	Max. Value	Notes	Comment
Input Ch. 1	1	CC 7	0, 1	127	Channel LEVEL (to MAIN)	OFF, -70 dB	+10 dB		Value 0 = OFF, Value 1~127 = the actual level control from -70 to +10 dB
"	"	CC 10	0	127	Channel BALANCE (to MAIN)	1.0 LEFT	1.0 RIGHT		Value 64 = "0.0 CENTER"
"	"	CC 5	0	1-127	MUTE	NO MUTE	MUTE		Switch; value 0 = "MUTE OFF"; value 1-127 = "MUTE"
"	"	CC 6	0	1-127	SOLO	NO SOLO	SOLO		Switch; value 0 = "SOLO OFF"; value 1-127 = "SOLO"
"	"	CC 1	0	127	EQ LOW	-15 dB	+15 dB		Continuous control; value 64 = "0.0 dB" (center position)
"	"	CC 2	"	"	EQ LOW MID	"	"		"
"	"	CC 3	"	"	EQ HI MID	"	"		"
"	"	CC 4	"	"	EQ HI	"	"		"
"	"	CC 8	0	127	GAIN	-20 dB	+60 dB	NOT on Ch. USB/BT	Continuous control
"	"	CC 9	0	127	LOW CUT	20 Hz	600 Hz	NOT on Ch. USB/BT	Continuous control
"	"	CC 11	0	100-127	COMP	0%	100%	NOT on Ch. USB/BT	Continuous control; values 101-127 = identical to max. value = 100%
"	"	CC 12	0	1-127	48 V	OFF	ON	ONLY on Ch. 1 + 2	Switch; value 0 = "48V OFF"; value 1-127 = "48V ON"
"	"	CC 14	0, 1	127	SEND LEVEL to MON1	OFF, -70 dB	+10 dB		Value 0 = OFF, Value 1~127 = the actual level control from -70 to +10 dB
"	"	CC 15	0, 1	127	SEND LEVEL to MON2	OFF, -70 dB	+10 dB		"
"	"	CC 16	0, 1	127	SEND LEVEL to FX 1	OFF, -70 dB	+10 dB		"
"	"	CC 17	0, 1	127	SEND LEVEL to FX 2	OFF, -70 dB	+10 dB		"

>各入力チャンネルは 1つの特定の MIDI チャンネルに割り当てられます。

BUSES

Section	MIDI Ch.	Command	Min. Value	Max. Value	Parameter	Min. Value	Max. Value	Notes	Comment
MAIN BUS	8	CC 7	0, 1	127	BUS LEVEL	OFF, -70 dB	+10 dB		Value 0 = OFF, Value 1~127 = the actual level control from -70 to +10 dB
"	"	CC 10	0	127	BUS BALANCE	1.0 LEFT	1.0 RIGHT	ONLY on MAIN BUS	Value 64 = "0.0 CENTER"
"	"	CC 8	0	127	BUS LIMITER	-30 dB	0 dB	NOT on FX 1/2 BUS	Continuous control
"	"	CC 11	0	127	9-BAND EQ 62 Hz	-15 dB	+15 dB	NOT on FX 1/2 BUS	Continuous control; value 64 = "0.0 dB" (center position)
"	"	CC 12	"	"	9-BAND EQ 125 Hz	"	"	"	"
"	"	CC 13	"	"	9-BAND EQ 250 Hz	"	"	"	"
"	"	CC 14	"	"	9-BAND EQ 500 Hz	"	"	"	"
"	"	CC 15	"	"	9-BAND EQ 1 kHz	"	"	"	"
"	"	CC 16	"	"	9-BAND EQ 2 kHz	"	"	"	"
"	"	CC 17	"	"	9-BAND EQ 4 kHz	"	"	"	"
"	"	CC 18	"	"	9-BAND EQ 8 kHz	"	"	"	"
"	"	CC 19	"	"	9-BAND EQ 16 kHz	"	"	"	"

>各バスは 1つの特定の MIDI チャンネルに割り当てられます。

FX CONTROL

Section	MIDI Ch.	Command	Min. Value	Max. Value	Parameter	Min. Value	Max. Value	Notes	Comment
FX 1 / FX 2	14 / 15	Prog. Chg.	1	16	EFFECT PRESET	1	16		Program Change 0 & 17-127 = ignored
"	"	CC 1	0	100-127	PARAMETER 1	0%	100%		Continuous control; values 101-127 = identical to max. value = 100%
"	"	CC 2	0	1-127	PARAMETER 2	Value A	Value B		Switch; MIDI value 0 = "Value A"; MIDI value 1-127 = "Value B"

>各 FX スロットは 1つの特定の MIDI チャンネルに割り当てられます。

GLOBAL CONTROL

Section	MIDI Ch.	Command	Min. Value	Max. Value	Parameter	Min. Value	Max. Value	Notes	Comment
SNAPSHOT	16	Prog. Chg.	1	16	Load MIXER SNAPSHOT	1	16	Loading #16 = RESET!	Program Change 0 & 17-127 = ignored; Presets = 1-15; RESET = Prog. Chg. #16
FX 1 / FX 2	"	CC 1	0	1-127	FX MUTE	NO MUTE	MUTE	Mutes BOTH FX Sends	Switch; value 0 = "MUTE OFF"; value 1-127 = "MUTE"
FX 1 / FX 2	"	Note 0 (C-1)	Velocity 1	Velo. 127	TAP TEMPO	50 BPM	250 BPM	See below!	Lowest MIDI note for tempo tapping; ignore Velocity 0, any velo. btw. 1-127 = OK

>すべてのグローバルコントロールは MIDI チャンネル 16 で動作します。

TAP TEMPO に関する注記:

- 1) 注 On コマンドは、FX テンポを制御するために使用されます。注オフは無視されます。
- 2) 1~127 のノートベロシティはトリガーしても問題ありません。ベロシティ 0 は無視されます。
- 3) テンポの計算は、MIDI-Note 0 の繰り返しヒット間の時間間隔を測定することによって行われます (ミキサーのハードウェアTAPボタンと同じロジック)。
- 4) TAP TEMPO は一般的に両方の FX スロットに影響するため、「グローバルテンポ」です。
- 5) TAP TEMPO このパラメーターを提供するディレイ/エコーエフェクトにのみ使用できます (FX 2 > プリセット No. 1-12)。

JP 技術仕様

マイク入力

マイク入力 1/2	
タイプ	2 x XLR ジャック、バランス
マイク E.I.N. (20 Hz ~ 20 kHz)	-129 dBu, A-加重
歪み (THD+N)	< 0.004%, A-加重
最大 入力レベル	+20 dBu
インピーダンス	10 kΩ 平衡、5 kΩ 不平衡

マイク入力 3/4

タイプ	2 x XLR / ¼" コンボジャック、バランス型
マイク E.I.N. (20 Hz to 20 kHz)	-117 dBu, A-加重
歪み (THD+N)	< 0.01%, A-加重
最大 入力レベル	XLR: +6 dBu TRS: +26 dBu
インピーダンス	XLR: 2 kΩ バランス、1 kΩ アンバランス TRS: 20 kΩ バランス、10 kΩ アンバランス
ゲイン範囲	-20 dB to +60 dB
ファンタム電源	+48 V、切り替え可能 (入力 1/2 のみ)

ライン入力

タイプ	2 x ¼" ジャック、バランス型 (チャンネル 5L/7L)
インピーダンス	20 kΩ 平衡、10 kΩ 不平衡
ゲイン範囲	-20 dB ~ +60 dB
歪み (THD+N)	0.005%, A 加重、0 dB ゲイン、0 dBu 出力
最大 入力レベル	+22 dBu

ギター (Hi-Z) 入力

タイプ	2 x ¼" TRS ジャック、バランス型 (チャンネル 6R/8R)
インピーダンス	2 MΩ 平衡、1 MΩ 不平衡
歪み (THD+N)	0.005%, A 加重、0 dB ゲイン、0 dBu 出力
最大 入力レベル	+19 dBu

チャンネル EQ

低	±15 dB @ 20 Hz、シェルフ
ローミッド	±15 dB @ 300 Hz
ハイミッド	±15 dB @ 1.5 kHz
高い	±15 dB @ 20 kHz、シェルフ

モニター出力

タイプ	2 x ¼" TRS ジャック、バランス型
インピーダンス	75 Ω、バランス
最大 出力レベル	+14 dBu

電話出力

タイプ	2 x XLR ジャック、バランス
インピーダンス	150 Ω、バランス
最大 出力レベル	+14 dBu

電話入力

タイプ	1 x ¼" TRS ジャック、ステレオ
最大 出力レベル	+18 dBm / 40 Ω

フットスイッチ入力

タイプ	1 x ¼" TRS ジャック (チップ/リングは通常開いています)
機能設定可能	FX ミュート/タップテンポまたはスナップショットロード次/前

入力/出力および処理

周波数範囲	10 Hz to 22 kHz (+0/-1 dB)
ダイナミックレンジ、アナログ入力からアナログ出力	代表 108 dB
I/O 代表	0.6 ミリ秒
信号処理	32 ビット VFP (ベクトル浮動小数点)
A/D - D/A 変換	24 ビット / 48 kHz
ダイナミックレンジ	114 dB
入力処理チャンネルの数	10 入力チャンネル、 4 fx リターンチャンネル

USB オーディオインターフェース

インターフェイスタイプ	USB 2.0
コネクタ	タイプ B
ビット深度	24-bit / 48 kHz
チャンネル	10 アウト / 2 インチ

Bluetooth

周波数範囲	2402 MHz ~ 2480 MHz
チャンネル番号	79
バージョン	Bluetooth 4.0 デュアル モード
互換性	A2DP 1.2 プロファイルをサポート
最大 通信範囲	12 m (干渉なし)
最大 出力電力	9.6 dBm
音のゲイン	1.84 dBi

電源/電圧

コネクタ	マイクロ USB
電源	5 VDC 2 A
消費電力	最大 10 W (標準 5 W)

寸法/重量

寸法 (H x W x D)	48 x 229 x 172 mm (1.9 x 9.0 x 6.8")
重量	1.4 kg (3.1 lbs)

その他の重要な情報

JP その他の重要な情報

1. ヒューズの格納部 / 電圧の

選択: ユニットのパワーソケットに接続する前に、各モデルに対応した正しい主電源を使用していることを確認してください。ユニットによっては、230V と 120V の 2 つの違うポジションを切り替えて使う、ヒューズの格納部を備えているものがあります。正しくない値のヒューズは、絶対に適切な値のヒューズに交換されている必要があります。

2. 故障: Music Tribe デイラーがお客様のお近くにいるときは、musictribe.com の "Support" 内に列記されている、お客様の国の Music Tribe ディストリビューターにコンタクトすることができます。お客様の国がリストにない場合は、同じ musictribe.com の "Support" 内にある "Online Support" でお客様の問題が処理できないか、チェックしてみてください。あるいは、商品を返送する前に、musictribe.com で、オンラインの保証請求を要請してください。

3. 電源接続: 電源ソケットに電源コードを接続する前に、本製品に適切な電圧を使用していることをご確認ください。不具合が発生したヒューズは必ず電圧および電流、種類が同じヒューズに交換する必要があります。



Music Tribe は、本製品が指令 2014/53/EU、指令 2014/30/EU、指令 2014/35/EU、指令 2011/65/EU および改正 RoHS 指令 2015/863/EU、指令 2012/19/EU、規則 519/2012 REACH SVHC ならびに指令 1907/2006/EC に準拠していることをここに宣言します。

EU DoC の全文はこちらでご覧いただけます。 <https://community.musictribe.com/>

EU 窓口: Music Tribe Brands DK A/S

所在地: Gammel Strand 44, DK-1202 København K, Denmark

UK 窓口: Music Tribe Brands UK Ltd.

所在地: 6 Lloyds Avenue, Unit 4CL London EC3N 3AX, United Kingdom

We Hear You